

# 平成25年度事業報告書

社会福祉法人創和会

## 目次

|                  |     |
|------------------|-----|
| はじめに             | 2   |
| 全体総括             | 3   |
| 地域密着型特別養護老人ホーム事業 | 4   |
| 通所介護事業           | 1 2 |
| 訪問介護事業           | 1 6 |
| 居宅介護支援事業         | 2 0 |
| 高齢者支援センター        | 2 4 |
| 看護グループ           | 2 9 |
| 総務管理課            | 3 1 |

## 1, はじめに

平成25年度は、赤字決算に終わった前年度の反省を踏まえ、収支状況の早期改善を最優先課題として取り組んできた。その中でも地域密着型特別養護老人ホームの運営安定化とデイサービスの事業実績回復が問われた1年であった。結果的にわずかではあるものの黒字決算を到達できたことは成果と言える。

地域密着型特別養護老人ホームについては、定員が20人と小規模でありスケールメリットが働きにくい環境にあるが、開設した前年度と異なり1年を通じてほぼ満室状態であったこともあり年間では1億円近い事業収入を獲得することができた。前身のショートステイ事業の時には、年間7千万円弱の事業収入であったのと比較しても、約3千万円もの増収を達成できたことは、経営的にも大きな成果だと言えよう。引き続き医療・看護・介護の連携を強化することで、極力入院者が出ないように取り組んでいきたい。

また、前年度はとりわけ大きな減収影響を受けたデイサービスも、25年度以降は積極的な新規利用者の獲得に努めた結果、利用者数に着実な回復が見られており、法人全体の収支状況の改善につなげることができた。とはいえ、周辺のデイサービス事業所は著しく増加しており一層競合環境は激化しつつある。今後は横浜市青葉区の市場を含め、今までにも増して積極的な営業活動を展開していく必要があるものと考ええる。

その他、高齢者支援センター事業に関連することとして、町田市が施策として計画的に推進している「あんしん相談室」事業であるが、本年3月末現在において市内には既に6カ所が開設されており、年間2カ所のペースで他エリアへの増設を進めてきている。「あんしん相談室」は実質的に高齢者支援センターの出張所的な機能を有する拠点であり、車の両輪のような関係性にある事業であることから、本会としても出来るだけ早期の開設へ向けた準備が必要である。

26年度下半期には高齢者支援センター運営事業者に関する次期公募が予定されていることを踏まえ、同時並行的に取り組んでいきたい。

但し、本会事業を支える介護職員・看護職員の安定的な確保と定着には課題がある状況と言わざるを得ない。地域の高齢化の加速度的な進行に伴い介護需要は高まるばかりであるが、それを担う介護人材が安定的に確保されなければ事業的にも機会損失は避けられない。本会の経営体力の点から限りはあるものの、今後とも介護職員の処遇改善に努めつつ、少しでも職員が定着できるように働きやすい職場環境にしていくことが必要だと考える。

来年4月に予定している次期介護保険制度の改定は、平成12年度に介護保険制度が発足して以来の大規模改定が予想されている。特に予防給付の見直しの動向は非常に懸念されるところである。これをどのように乗り切っていくかが当面の経営課題ではあるが、社会福祉法人として本来担わなくてはならない地域貢献活動に取り組むことも欠かさすわけにはいかない。

少子高齢化が一層進む中において今後も幾多の難局があるかもしれないが、国が提唱する「地域包括ケア」が実現出来る体制作りを念頭に、今後とも役職員一丸となり地域介護ニーズの独占を目指して邁進していく所存である。

## 2. 平成25年度主要課題総括

### 1. 地域密着型特別養護老人ホーム運営の安定化

(成果)

25年度は6月に新しい入居者をお迎えして以来、退居や新入居もなく3月末まで推移した。この結果、年間の居室稼働率も98.5%を達成するなど非常に高い実績を残すことができた。今後も増え続ける重度入居者や医療依存度の高い入居者の受け入れを踏まえ、介護職と看護職を中心に管理栄養士など多職種との密な連携の成果だと評価している。

26年度以降については看取りケアの実施に向けて、たんの吸引などの医療的ケアにも対応出来る質の高い介護職員の確保と育成が今後の引き続いた課題であると考えている。

### 2. デイサービスの事業実績回復

(成果)

デイサービスについては、24年度初頭に大規模ユニット型特別養護老人ホームの地域内への新設が2カ所あったことが通所利用者の大幅な減少(1日平均33人程度)につながったが、25年度に入ってから新規利用者の積極的な受け入れや既存利用者の増回など様々な営業努力の効果もあり1日平均37.4人にまで回復するなど着実に利用者が増加してきた。

26年度は更に延べ利用者数を増加できるように努力していきたいと考えている。

### 3. 介護の質の向上

(成果)

特別養護老人ホームの開設を念頭に、年々高度化する介護技術や関連知識の教育指導体制を強化する目的として、現場サービス部門の管理者がメンバーの中核をなす研修委員会を中心に、現場職員の研修ニーズを把握しつつ「介護技術キャリアアップ研修」の一層の内容充実に努めた。今年度下半期からは新たな取り組みとして、正規職員を対象にした「キャリア形成促進助成金」を活用し専門機関に委託した外部講師を招聘することができ、年間10回の施設内研修を開催できた。また、町田市介護人材開発センターが主催する安価で距離的にも参加しやすい外部研修の機会も有効に活用したことにより介護職全体のレベルアップにつながったものと考えている。

### 4. 高齢者支援センター部門の体制強化

(成果)

高齢者支援センター職員による粘り強い働きかけの結果、本年3月から高ヶ坂の高瀬住宅地区において「町田市高齢者見守り支援ネットワーク」事業が開始できた。今後の「あんしん相談室」事業の受託に向け前提となる事業であることもあり、年度内に立ち上げができたことは大きな成果と言える。引き続き町田市とも連携しながら実りのある体制にしていきたいと考えている。

### 5. 次期3カ年中期計画の立案

(成果)

介護保険制度の大規模改定が1年後に予定されているが、それを乗り切るため職員・評議員・理事の代表者から構成されたプロジェクトチームにより、約3ヶ月間をかけて第二次3カ年中期事業計画が策定できたことは大きな成果と言える。この計画を確実に取り組んでいきたい。

なお、ケアセンター成瀬の5事業部、2部署の年度報告は以下のとおりである。

# 地域密着型特別養護老人ホーム

## 平成25年度活動総括

### 1. 部門経営の安定化

#### (方針1) 入居稼働率の95%以上確保

(実績1) 入居率(居室稼働率)について、95%目標のところを年間合計で98.5%を達成することができた。医療とケアの連携が機能し、入居者様の心身状況の異常の早期発見、早期治療につながった結果、入院レベルまで悪化することなくケアができた成果であると評価している。また、感染症予防のために、消毒マットの導入や面会者に対するうがいと手洗いの励行、徹底を毎月のお便り等で早めに周知した結果であると考えている。

#### (方針2) 重度要介護者の積極的なご入居受け入れ体制の確保

(実績2) 平成26年3月末時点で平均要介護度3.6、要介護4～5の入居者様は12名と全入居者様の60%を占めている。要介護3の入居者様まで含めると15名、全体の75%となっている。食事の形態や水分摂取に関するケア、褥瘡予防ケア、寝たきり防止ケアなどを医療と介護が連携し、随時勉強会やカンファレンスを開くことにより、ユニット職員内での情報共有が有効に機能しつつある。今後も重度要介護高齢者の方の受け入れを積極的に行えるよう、研鑽を積んでいきたい。

### 2. 介護職員等の体制確保

#### (方針1) 安定した人材を確保する

##### (実績1-1) ユニットケア実践に必要な人材確保

新聞広告やハローワーク等への求人広告を掲載していますが、契約職員1名と非常勤職員1名の退職があり、4交代勤務が可能な職員の充足までには至っていない。今後も継続して求人活動を行い、両ユニット共に安定的に職員配置ができるよう努める必要がある。また、契約職員から正規職員への登用も可能な限り推進することにより、より良い労働環境を整備する必要がある。

##### (実績1-2) 職員教育と介護実践基盤の構築

前述の通り、必要に応じてケアカンファレンスを他職種間で行いケア方針を決定するように、日々の介護実践においてOJTを中心とした職員教育を継続した。成果の一つとして、居室稼働率が高い水準で保つことができたと評価している。

#### (方針2) 介護職員の“働きがい”づくりの推進

##### (実績1-1) くもん学習療法の導入

特養全体で9名の希望者に対して学習療法を提供した。当初の計画では週5回を予定していましたが、午後に陰洗ケアやその他のケアにより、週2～3回程度にとどまっています。他の学習療法導入施設でも身体介護に優先度が高くなってしまい、学習療法を思うように提供できないジレンマもあります。来年度は、ユニットごとに独立して行っていた学習療法を1か所にまとめ、1対2の学習が可能な入居者様は出来る限り1対2の学習をすることにより、学習療法の全体時間を短縮できるよう工夫していきます。

##### (実績1-2) 成果発表会の創設

当初企画をしていましたデイサービス部門と共同の成果発表会は開催できなかった。一旦発表会の案は取り下げ、特養単独としての学習療法の確立を目指します。

##### (実績1-3) ミーティング等における意見交換しやすい環境づくり

互いの立場や意見を尊重する風土は築けているように感じている。一つの例として、事故報告、

インシデント報告、ヒヤリハット報告はその都度報告書が上がり、年間120件となっています。互いのミスを責め合うのではなく、自らのこととしてチームで業務改善する風土は誇れる環境であると評価しています。

### 3. 介護の質の向上

#### (方針1) 研修参加の促進

##### (実績1-1) ユニット内ミーティングへの実施

ユニットミーティングは毎週1回と計画していましたが、ケアの量と質が増えたことによりミーティングとしての独立した時間を持つことに困難が生じていたが、平成25年8月より導入した入居者情報管理システムを活用し、入居者様のケアや業務指示、伝達事項等を共有しています。結果として、毎月1回のユニットミーティングを開いているという状況で推移した。

##### (実績1-2) 施設内研修の参加

特養の勤務時間は他部門とは異なること、4交代制で勤務していることが影響し、施設内研修への参加率は非常に低い状況であった。しかし、特養部門内での情報共有やミニ勉強会を行うことでケアの質の向上に努めた。

##### (実績1-3) 町田市介護人材センター主催の研修への参加

今年度は、契約職員も含めて1名の参加にとどまった。外部研修による学びの機会を十分に生かせなかったことは反省点である。26年度は介護過程研修を含めて、積極的な参加ができるよう勤務等の調整を行っていききたい。

##### (実績1-4) くもん学習療法関東広域勉強会、エンシュアくらぶへの継続参加

関東近県の学習療法導入施設で構成される関東広域勉強会では、当施設の施設見学会を2回、勉強会を1回実施しました。施設見学会に来館された参加者総数は静岡県、茨城県、東京都、神奈川県、千葉県より55名であった。また、勉強会では、当施設で実践した『施設内研修会』の開き方などを中心に発表した。関東広域勉強会&施設見学会に述べ7名参加し、エンシュアクラブには述べ7名の職員が参加しました。各施設での取り組みを実際に見学し、ユニットに持ち帰りミーティングを活用して他の職員への報告をしています。

#### (方針2) しっかりしたユニットケアの実践を行う

##### (実績2-1) ご入居者お一人おひとりに合わせた介護の実践

個々のご入居者のアセスメントを半年に1回以上の見直しを行い、ケアプランを中心としたケア実践を念頭に置きながらチームとして行った。ご入居者の生活課題に対して、ケアカンファレンスなどを綿密に行ったが、完全なる個別ケアには至っておらず、個別ニーズに応えられるようにさらなる努力が必要だと感じている。

##### (実績2-2) ご入居者の社会参加機会の確保

幼老交流の企画は実現できなかった。26年度はまず外出機会に焦点を絞り、実現につなげていきます。

##### (実績2-3) ケアプランの作成

年4回のモニタリング評価と再アセスメント作業、6か月に1回もしくはご入居者の状態に変化がある、あるいはケア方針を変更しなければならない場合のサービス担当者会議を、介護支援専門員を中心に他職種協同で行いケアプランの更新を定期的に行っている。

### 4. 日常生活介護

#### (実績1) 基本的ケアの提供

##### ①食事

食事の環境を整え、常に清潔を意識し、食事前後の手洗いや手指消毒をご入居者様に励行し、食中毒予防に努めた。栄養ケアマネジメントについては、管理栄養士が中心となり、配置医、看護師、介護職らと協同し体重コントロールや経口摂取の維持を図った。

また、毎月2回麺類のメニューを導入し、8月にはご入居者を対象に食事の嗜好アンケート調査を実施し、9月の家族会&懇親会のメニューに取り入れた。

## ②入浴

ご入居者の尊厳を大切にし、入浴前から入浴後まで同じ職員が関わる形での入浴をしていただきました。体調面を鑑み、入浴できない方については、全身清拭、陰部洗浄ケアにて身体の清潔を保てるような支援を行った。

## ③排泄

個々の身体機能に応じて、できるだけトイレの使用を推奨したケアを実践した。また排泄記録をつけ、排便コントロールや排尿状況の把握に努めた。

## ④移動・移乗・体位交換

生活リハビリを重視し、ユニットリビングでは車いすからいすへの移乗を積極的に実践した。また、移乗介助の方法についての勉強会を開き、ユニット職員が共通の移乗介助ができるように努めた。

## ⑤口腔ケア

誤嚥性肺炎を予防するため、食後の口腔ケアを積極的に実施した。結果的に、25年度は誤嚥性肺炎で入院した方は0名であった。

## ⑥その他

居室の空調管理やリビングの空調管理や湿度管理などに配慮し、ご入居者が快適に過ごせるよう努めた。レクリエーションはボランティアの協力を得て、ハーモニカコンサートを3回、ほぼ月1回のボール体操プログラム、ご入居者のご家族による歌のプログラム（不定期）などを行った。

### （実績2）健康管理の取り組み

ご入居者の健康管理について、配置医・看護師・介護職等との間でカンファレンスや情報交換、情報共有を図り、疾患の早期発見と早期受診につなげた。その結果として、入院治療が必要な状態となることを防ぎ、できる限り特養での生活を継続できるように支援できたものと評価している。日頃の健康管理の一環として、協力医療機関での基本健康診査受診を全員対象に行った。体重測定は毎月1回計測し、記録を付けて栄養ケアマネジメントにつなげた。口腔内については、訪問歯科医療機関の協力を得て、毎週1回受診できるようにした。職員の健康管理についても、規定に則り実施しました。

### （実績3）機能訓練の実施

まず車いすの方についてリビングにおけるいすへの移乗を積極的に行いました。これは、生活リハビリの観点から、立ち上がり動作の機会を増やすことによる下肢を中心とした筋力維持、正しい姿勢による食事摂取時の誤嚥予防等の目的があり実践しました。また、ご希望のある方を対象に外部の訪問マッサージ事業者による腰痛等の痛みの緩和を目的とした訪問マッサージなどをご利用いただきました。看護師や理学療法士からの助言を受け、関節可動域訓練や座位時の姿勢維持などを行いました。

#### (実績4) 日常生活援助

全てのご入居者に居室担当を定め、居室内の環境整備等を中心に支援させていただいた。また、衣類の洗濯、理美容等もユニット介護職員が中心となり支援した。24時間シートに基づくケアの実践は、まだ十分にできているとは言い難い。26年度中に、全ご入居者分の24時間シートの完成を目標に、ユニットケアの実践を推進していく。ご家族と連携し、外出・外泊がスムーズに行えるよう、施設の食事中止、再開などご負担額にロスの無いようにサポートしていきたい。行政手続きや要介護認定更新申請等は当方にて対応を希望された方については速やかに対応した。

### 5. 季節行事や余暇活動等の取り組み

#### (実績1) 季節行事

4月に恩田川を中心としたお花見、5月に端午の節句で玄関等での飾り付け、7月はご家族からの笹のご提供をいただいての七夕となるせだい祭りへの参加と花火大会、9月は敬老会も含めた形での家族会&懇親会、12月はクリスマス会と忘年会、1月は杉山神社への初詣、2月の豆まき(節分)、3月には雛飾りと計画通り行事を行った。

#### (実績2) 誕生会

誕生日には特別なおやつと居室担当者からのプレゼントをご用意し、誕生日をユニットの皆さんでお祝いした。

#### (実績3) レクリエーション

おやつ作りは、クリスマス会に実施したのみとなってしまう、計画通りに実行できなかった。また、カラオケクラブも不定期開催となってしまった。昨年度から比較し、ご入居者に対するケア量が増えたことや、介護業務に重点を置いて生活支援をしているため、レクリエーションまで余力がなかったことがその原因と考えている。

予定通り行えたのは、毎月1回の生け花クラブと、1月より始まった月1回の書道クラブです。26年度は、クラブ活動を充実させることができるよう、職員配置の安定化を図っていきたい。

### 6. 会議・委員会・研修の実施

#### (実績1) 会議

特養ユニットミーティングは、週1回を予定していたが、毎月1回の開催に留まった。日常のケア業務が増えたことや職員の人数の減少に伴い、会議を持ちたいときに1~2名しか集まらないなどの事情による。4交代勤務により、ミーティング当日に夜勤入、あるいは夜勤明けとなると参加できず、また職員の希望休と重なってしまうと参加を促すことは困難となりがちであった。入居者情報管理システムによる申し送り機能を用いていますが、漏れなどもあり改善課題と捉えている。特養会議は毎月第2木曜日(12月以降は第3木曜日)に、施設長、両ユニットリーダー、看護師、介護支援専門員、生活相談員で構成される会議で、主に特養運営方針や業務上の課題などの討議する場として行った。

#### (実績2) 委員会

##### 1) 褥瘡対策委員会

12月より特養会議後、褥瘡リスクの高い方を中心に褥瘡予防等について、施設長、看護師、介護職、管理栄養士、生活相談員、介護支援専門員において検討した。

##### 2) 感染対策委員会

12月より毎月1回、看護師が中心となり感染症予防の啓発、感染症対策マニュアルの策定を実施し、感染症への対策について、施設長、介護職、管理栄養士、生活相談員等で検討した。



### 3) 給食委員会

毎月1回、施設長、管理栄養士、看護師、デイサービス職員、特養職員、給食部門担当で構成される委員が集い、検食結果の振り返り、食中毒予防等について検討を重ねた。また行事食の検討や提供方法、食に関する嗜好調査結果の報告などを行った。

### 4) 身体拘束廃止委員会

12月より、毎月1回特養会議に合わせて開催した。主に居室内で使用する離床センサーの使用の是非を中心に検討を行った。

### 5) 安全管理委員会

法人内で行われていたリスクマネジメント委員会から独立する形で安全管理委員会を立ち上げた。これは、在宅部門と施設部門では検討すべき課題が異なることが多いこと、法人リスクマネジメント委員は施設経験者が少ないため、建設的な意見や具体的改善案の提案などが難しいことなどの理由である。主に当該月内で起こったヒヤリハット、インシデント、アクシデント案件の振り返りと業務改善した後のモニタリングを評価した。

### 6) 研修委員会

施設長が委員長となり、総務管理課長、デイサービス主任、ヘルパーステーション主任、特養主任で構成され、法人内施設研修会の企画や各研修会の参加者アンケートによる事後評価等を2ヶ月に1回開催した。

なお、部門内では、OJTにおける研修会を12回行い、外部研修には11回参加しました。

### 7) 広報委員会

ユニット職員1名が特養部門の代表となり、法人内各部署代表者、施設長、住民の会代表者等で構成される委員会に参加した。法人広報誌「けあなる」に、今年度は特養での行事や新入職員紹介記事などを掲載した。

### 8) レクリエーション委員会

今年度の反省にもある通り、ご入居者に対するレクリエーション企画に注力できなかった。年度当初はレクリエーションを中心に検討する委員会活動を立ち上げる予定だったが果たすことはできず、イベントはユニットリーダーや生活相談員が中心となり企画実施した。

来年度に向けてご入居者のQOL向上を図るべく、余暇活動の充実に対する検討は必須であると考え、他の業務や職員の定着を図ることが先決であると考えており、体制が整い次第、委員会活動を立ち上げていきたい。

## 7. 地域社会との連携や貢献

### (方針1) 運営推進会議の定期開催

(実績1) 年間6回の運営推進会議を開催しました。構成メンバーは、ご入居者代表1名、ご家族代表1名、地域住民代表2名、高齢者支援センター職員1名、知見のある方2名、施設長、生活相談員です。主な内容として2か月間の特養事業やイベントの報告、リスクマネジメントにおける事故後の業務改善策の報告、特養事業に対する意見交換です。

### (方針2) 地域イベント等を通じたご入居者の社会への参加促進

(実績2) 地域のなるせだい祭りへのご入居者の参加やケアセンター成瀬祭りへの参加などを通じて、地域社会との交流機会を持った。今後の課題として、日常的に地域社会との交流が深められるような計画を立てる必要があると考えている。

### (方針3) 地域ボランティアの積極的な受け入れ

(実績3) 町田市介護相談員やハーモニカ演奏や体操指導のボランティア、書道講師ボランティアのご協力をいただいた。また、ぶどうの会ボランティアグループから年間延べ約305名の

方々により、食後の茶碗洗いやおしぼりの消毒、シーツ交換等をサポートしていただいた。この他、ダンケムジークの方による家族会でのコンサートやユニットリビングでの歌の会などご協力をしていただいた。

#### **（方針4）地域教育機関の実習生の積極的な受け入れ**

（実績4）北里大学医学部の実習生3名を受け入れ、高齢者福祉のあり方やユニットケアの実際を学んでいただいた。また、町田市中学校職場体験実習の取り組みとして、今年度はつくし野中学校2年生を2名受け入れた。それぞれに特別養護老人ホームの介護現場を通じて、高齢者介護についての学びの場を提供できたものと捉えている。

平成25年度 地域密着型特別養護老人ホーム事業実績

(単位) 千円

|             |      | 4月    | 5月    | 6月    | 7月     | 8月    | 9月     | 10月    | 11月    | 12月   | 1月    | 2月     | 3月     | 年間合計  |
|-------------|------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|--------|--------|-------|-------|--------|--------|-------|
| 居室数         |      | 600   | 620   | 600   | 620    | 620   | 600    | 620    | 600    | 620   | 620   | 560    | 620    | 7300  |
| 稼働居室        |      | 569   | 589   | 562   | 620    | 616   | 600    | 620    | 600    | 618   | 617   | 560    | 620    | 7191  |
| 稼働率         |      | 94.8% | 95.0% | 93.7% | 100.0% | 99.4% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 99.7% | 99.5% | 100.0% | 100.0% | 98.5% |
| 四<br>半<br>期 | 居室   | 1820  |       |       | 1840   |       |        | 1840   |        |       | 1800  |        |        | 7300  |
|             | 稼働居室 | 1720  |       |       | 1836   |       |        | 1838   |        |       | 1797  |        |        | 7191  |
|             | 稼働率  | 94.5% |       |       | 99.8%  |       |        | 99.9%  |        |       | 99.8% |        |        | 98.5% |
| 入居者数        |      | 0人    | 1人    | 1人    | 0人     | 0人    | 0人     | 0人     | 0人     | 0人    | 0人    | 0人     | 0人     | 2人    |
| 退居者数        |      | 1人    | 1人    | 0人    | 0人     | 0人    | 0人     | 0人     | 0人     | 0人    | 0人    | 0人     | 0人     | 2人    |

## 平成25年度 地域密着型特別養護老人ホーム 事業実績(外部来訪者・実習受け入れ等)

### (1) 学校指定実習生受け入れ実績

| 学校名           | 学科名    | 学年 | 4月      | 5月 | 6月 | 7月      | 8月 | 9月 | 10月     | 11月 | 12月 | 1月      | 2月 | 3月 | 合計  |
|---------------|--------|----|---------|----|----|---------|----|----|---------|-----|-----|---------|----|----|-----|
| 町田福祉保育専門学校    | 総合福祉学科 | 2年 | 0名      | 0名 | 0名 | 0名      | 0名 | 0名 | 2名      | 0名  | 0名  | 0名      | 0名 | 0名 | 2名  |
| 千葉大学教育学部附属中学校 |        | 1年 |         |    |    |         |    |    | 15名     |     |     |         |    |    | 15名 |
| 町田福祉保育専門学校    | 介護福祉学科 | 1年 |         |    | 1名 |         |    |    |         |     |     |         |    |    | 1名  |
| つし野中学校        |        | 2年 |         |    |    |         |    |    |         | 2名  |     |         |    |    | 2名  |
|               |        |    | 第1四半期合計 |    |    | 第2四半期合計 |    |    | 第3四半期合計 |     |     | 第4四半期合計 |    |    | 総計  |
|               |        |    | 1名      |    |    | 0名      |    |    | 19名     |     |     | 0名      |    |    | 20名 |

### (2) ボランティア受け入れ実績(延人数)

| ボランティア団体      | 4月  | 5月      | 6月  | 7月  | 8月      | 9月  | 10月 | 11月     | 12月 | 1月  | 2月      | 3月  | 合計   |      |
|---------------|-----|---------|-----|-----|---------|-----|-----|---------|-----|-----|---------|-----|------|------|
| 住民の会(ぶどうの会)   | 20名 | 27名     | 27名 | 28名 | 28名     | 29名 | 32名 | 30名     | 28名 | 22名 | 15名     | 19名 | 305名 |      |
| 細田武士とキンピラ2013 |     |         |     |     |         | 8名  |     |         |     |     |         |     | 8名   |      |
| ハーモニカボラ小松様    |     |         | 1名  |     | 1名      |     | 1名  |         |     |     |         | 1名  | 4名   |      |
| ゆうき堂体操        | 2名  | 2名      | 2名  | 2名  | 2名      | 2名  | 2名  | 2名      | 2名  | 2名  | 0名      | 1名  | 21名  |      |
|               |     | 第1四半期合計 |     |     | 第2四半期合計 |     |     | 第3四半期合計 |     |     | 第4四半期合計 |     |      | 総計   |
|               |     | 81名     |     |     | 100名    |     |     | 97名     |     |     | 60名     |     |      | 338名 |

### (3) 見学者受け入れ実績

| 種別  | 見学目的     | 4月      | 5月 | 6月  | 7月      | 8月 | 9月 | 10月     | 11月 | 12月 | 1月      | 2月 | 3月  | 合計  |
|-----|----------|---------|----|-----|---------|----|----|---------|-----|-----|---------|----|-----|-----|
| くもん | 施設見学会    | 0名      | 0名 | 35名 | 20名     | 0名 | 0名 | 0名      | 0名  | 0名  | 0名      | 0名 | 0名  | 55名 |
| くもん | 未導入施設見学会 | 0名      | 0名 | 0名  | 0名      | 0名 | 0名 | 0名      | 0名  | 0名  | 6名      | 0名 | 13名 | 19名 |
|     |          | 第1四半期合計 |    |     | 第2四半期合計 |    |    | 第3四半期合計 |     |     | 第4四半期合計 |    |     | 総計  |
|     |          | 35名     |    |     | 20名     |    |    | 0名      |     |     | 19名     |    |     | 74名 |

## 通所介護事業部（デイサービス）

### 1. 平成25年度事業総括

#### （方針1）事業実績回復へ向けたあらゆる取り組みを行う。

（実績1-1）年度を通じ利用者数維持から拡大に向けた取り組みを進めてきた結果、新規利用者44名、終了者47名と新規利用者が終了者を上回る見込みだが、年度後半の1～2月に週間利用日数2日～5日の利用者6名の長期入院、死去が重なり、月平均利用者数は目標139名となり目標の140名を若干下回った。

（実績1-2）認知症対応型サービス運営内容の見直しおよび知識・技術習得のための外部研修等への参加は、上半期退職者と後任入職者の業務対応能力のバランス維持を優先した業務運営となり、現状の午前中短時間運用の継続実施を優先せざるを得ないため改善は図れなかった。

（実績1-3）趣味活動アンケート調査結果に基づく、新たな趣味活動(アクティビティ)の取り入れやゲーム機器等(団塊の世代ニーズ)導入の検討は出来なかったが、定例の季節行事をはじめ、外出ドライブは年間6回で延べ200名参加、買い物ツアーは述べ60名(利用者55名、家族5名)参加、DS参観日は述べ18名の家族が参加し、好評を得る事ができた。また、広報紙に写真掲載することで、サービス内容を家族・支援事業所に広く周知できた。

#### （方針2）コンプライアンスの遵守とサービスの質の向上を目指す

（実績2-1）個別機能訓練は、利用者到着時間に合わせたグループ対応の実施により上半期は1日平均26名となった。下半期に入り10月より専任指導員が都合により休職となったため、看護グループの協力を得て実施していたが、専任指導員不在状態でこのまま継続することは困難と判断し、11月より後任の専任指導員が決定するまでの期間、要介護度対象者の個別機能訓練を一時休止した。（要支援、認知症対応型の利用者は継続実施した。）

その後、H26年1月に後任の専任指導員が入職したため、2月より要介護度対象者の個別機能訓練を再開した。従って、下半期の1日平均実績は12名、年度平均実績は約23名となった。

（実績2-2）学習療法の利用者数は第1四半期38名だったが、第2四半期に入り転居・長期入院・死去等の利用者が重複発生した事により33名に減少して以降、新規利用者確保はするものの利用者数自体は一進一退であった。

また、学習療法施設見学会の受入れを積極的に行い年間で約80名を受け入れ、正しい学習療法プログラムの理解を深め、認知症予防・改善成果などの情報・意見交換を行い、「日常介護サービスに学習療法を活かす」取り組みの強化にもつながり、相互に成長出来る場として貢献できた。

（実績2-3）各種研修会(施設内・外含む)にも積極的に参加し、年間で延べ102名となった。スタッフの認知症対応型事業所（他施設）での体験研修は実施出来なかった。

#### （方針3）地域ネットワークを生かした協力関係を強化する。

（実績3-1）地域ボランティアグループとの相互協力により、年間述べ1,143名の参加を得て、特色あるサービス提供に貢献し、内容の拡充が図れた。

(実績3-2) デイサービスフロアをダンケムジークコンサート、住民の会行事、成瀬台小学校児童との交流会などに利用することで、地域コミュニティスペースとしての役割を果たす事ができた。

(実績3-3) 今年度は、例年の町田福祉保育専門学校、成瀬台中学校に加え、北里大学医学部、千葉大学附属中学校の実習・施設体験の受入れ(合計22名)を実施し、地域ネットワークづくりに寄与することができた。

(実績3-4) あさがお歯科医院の協力による利用者無料歯科検診を実施、20名が受診し、本人の歯・口腔の状態を確認する事ができ、家族・職員の歯科衛生意識の向上が図れた。

#### (方針4) 部門の効率化を促進して人件費率を削減し黒字体質にする

(実績4) 月間利用者数確保に努め、実務的な職員配置を優先に推進した結果、人件費率は年度平均70.7%となり前年度比で4.7%低減し、黒字体質改善に寄与できた。

#### (方針5) 情報の共有化、一人ひとりが自律的に考えて働く職場を促進させる

(実績5-1) 上半期退職者6名(定年5名、出産1名)に伴う、サービス提供力低下を最小限に留めるべく、スタッフ各自が相互に協力し自律的に行動できた。

(実績5-2) 新入職員のOJTによる指導・育成を継続的实施し、全体職員会議などの機会を通じて、業務情報共有・相互連携の強化を図った結果、安定的な業務運営を推進することができた。

(実績5-3) 年度後半月にヒヤリハット・事故報告が重なったことから、安全・安心なサービス提供について改めて情報の共有化を強化していく。

## 2. 平成25年度事業収入評価

事業収入達成額は、

一般 91,827千円(対予算比104.8%、対前年比108.3%)

認知症対応型 25,066千円(対予算比91.5%、対前年比99.5%)

合計 116,893千円(対予算比101.6%、対前年比106.3%)であった。

### 1. H25年度 利用者換算人数

|         | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 年間平均 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 通所介護    | 854 | 871 | 793 | 807 | 806 | 743 | 871 | 803 | 832 | 747 | 717 | 842 | 807  |
| 換算合計    | 738 | 754 | 687 | 703 | 701 | 644 | 753 | 696 | 724 | 648 | 622 | 728 | 700  |
| 認知症通所介護 | 167 | 168 | 167 | 180 | 179 | 166 | 171 | 167 | 164 | 151 | 131 | 148 | 163  |

### 2. H25年度 個別機能訓練・運動器機能向上加算対象利用者曜日別人数

|       | 月    | 火    | 水    | 木    | 金    | 土    | 合計  | 平均   |
|-------|------|------|------|------|------|------|-----|------|
| 人数(名) | 24.7 | 22.8 | 21.4 | 23.9 | 26.4 | 18.3 | 138 | 22.9 |

### 3. H25年度 学習療法利用者人数

|       | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 年間計 | 年間平均 |
|-------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|------|
| 人数(名) | 36 | 37 | 38 | 32 | 33 | 33 | 33  | 36  | 35  | 32 | 31 | 31 | 407 | 33.9 |
| 増加人数  | 0  | 2  | 1  | 0  | 3  | 1  | 1   | 3   | 0   | 0  | 0  | 1  | 12  | 1.0  |
| 減少人数  | 3  | 1  | 0  | 6  | 2  | 1  | 1   | 0   | 1   | 3  | 1  | 1  | 20  | 1.7  |

4. H25年度 新規・終了利用者数

|      | 4月 |    | 5月 |    | 6月 |    | 7月 |    | 8月 |    | 9月 |    | 10月 |    | 11月 |    | 12月 |    | 1月 |    | 2月 |    | 3月 |    | 合計 |    | 年間平均 |     |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|-----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|-----|
|      | 新規 | 終了 | 新規 | 終了 | 新規 | 終了 | 新規 | 終了 | 新規 | 終了 | 新規 | 終了 | 新規  | 終了 | 新規  | 終了 | 新規  | 終了 | 新規 | 終了 | 新規 | 終了 | 新規 | 終了 | 新規 | 終了 | 新規   | 終了  |
| 通所介護 | 1  | 6  | 5  | 2  | 2  | 4  | 1  | 2  | 2  | 5  | 0  | 1  | 4   | 3  | 5   | 2  | 5   | 3  | 2  | 3  | 3  | 2  | 3  | 5  | 33 | 38 | 2.8  | 3.2 |
| 地域密着 | 0  | 0  | 0  | 0  | 2  | 0  | 0  | 0  | 0  | 1  | 0  | 0  | 0   | 2  | 0   | 0  | 0   | 0  | 0  | 0  | 1  | 1  | 0  | 0  | 3  | 4  | 0.3  | 0.3 |
| 予防   | 1  | 2  | 1  | 0  | 1  | 2  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 1  | 0   | 0  | 1   | 0  | 2   | 0  | 0  | 0  | 1  | 0  | 1  | 0  | 8  | 5  | 0.7  | 0.4 |
| 合計   | 2  | 8  | 6  | 2  | 5  | 6  | 1  | 2  | 2  | 6  | 0  | 2  | 4   | 5  | 6   | 2  | 7   | 3  | 2  | 3  | 5  | 3  | 4  | 5  | 44 | 47 | 3.7  | 3.9 |

5. 研修会参加者数(延べ人数)

|       | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計  |
|-------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 施設内研修 | 0  | 0  | 6  | 10 | 0  | 10 | 3   | 22  | 9   | 3  | 10 | 4  | 77  |
| 施設外研修 | 1  | 4  | 2  | 3  | 0  | 1  | 0   | 4   | 1   | 1  | 2  | 1  | 20  |
| 行政研修  | 0  | 0  | 0  | 0  | 1  | 1  | 0   | 0   | 0   | 0  | 3  | 0  | 5   |
| 合計    | 1  | 4  | 8  | 13 | 1  | 12 | 3   | 26  | 10  | 4  | 15 | 5  | 102 |

6. 実習生(体験学習)受入れ及びボランティア活動人数(延べ人数)

|        | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月  | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月 | 合計    |
|--------|----|----|----|----|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-------|
| 北里医大   | 0  | 1  | 2  | 0  | 0   | 0  | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 3     |
| 町田福祉   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 2  | 5   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 7     |
| 千葉大付属中 | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0  | 10  | 0   | 0   | 0   | 0   | 0  | 10    |
| 成瀬台中学  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0  | 0   | 0   | 0   | 2   | 0   | 0  | 2     |
| ボランティア | 80 | 77 | 82 | 75 | 140 | 80 | 78  | 75  | 95  | 108 | 160 | 93 | 1,143 |
| 合計     | 80 | 78 | 84 | 75 | 140 | 82 | 93  | 75  | 95  | 110 | 160 | 93 | 1,165 |



## 訪問介護事業部（ヘルパーステーション）

### 1、事業実績

#### （1）訪問介護・介護予防訪問介護（別表1・4参照）

月平均180名近くの利用があり、前年度よりも月15名弱の利用者増加となり、それに伴い利用時間数も増え収入目標額に達することができた。今年度も前年度同様に、訪問介護利用者の増加よりも予防訪問介護利用者の増加が大きく、月65名以上の方に利用いただき総利用者数の3分の1強、また、他事業所からの依頼件数が総利用者のほぼ2分の1であった。新規依頼はほぼ全て受け、困難ケースや同業他社の出来ない部分（土曜・日曜のヘルパー派遣等）も積極的に受けるとともに、スタッフの協力を得ながら、利用者の様々な状況に臨機応変・柔軟迅速に対応し、安心して在宅生活を過ごしていただける様に努めた。

#### （2）居宅介護・重度訪問介護（別表2参照）

重度訪問介護の利用は今年度もなかったが、居宅介護訪問介護利用者の増加が2名あり、派遣時間増加につながり収入目標額に達することができた。

長時間利用・夜間深夜利用を希望される重度訪問介護の受け入れは、当事業所の今の状況では難しく新規依頼は断らざるを得なかった。

#### （3）制度外訪問介護（別表3参照）

1人暮らしの方・共に高齢で夫や妻の通院に付き添うことが難しい・家人の都合で一緒に受診することができないなど病院内付添いに多くの利用があり、また、冷蔵庫や食器棚の片付け、普段使っていない部屋の整理などにも利用いただいた。

下期には、困難ケースの対応にあたり、介護保険を利用するには馴染まない内容が多いことから自費サービスを主に使ってもらっているご利用者があり、派遣時間が大幅に増え収入増となった。

### 2、事業総括

#### （方針1）利用者に満足していただけるサービスの提供

（実績1）施設内研修に6月25名・7月22名・9月14名・18名・11月16名・17名・12月15名・2月20名・3月25名、ヘルパーステーション全体研修には8月28名・2月20名の参加があった。また、内勤スタッフは町田市人材開発センター主催の研修を中心に14件の外部研修に参加し、介護過程リーダー養成講座・医療ニーズを見逃さないケアを学ぶ・介護技術研修・接遇はなぜ必要か・指導的職員研修・精神障害者ホームヘルプ研修など様々に学んだ。しかし、日々の活動に追われ、研修で学んだ事を勉強会やカンファレンスを開き共有することがほとんどできなかった。次年度には学んだ事を共有していく方法を考えていきたい。また、施設内研修の形が変わり、曜日固定となったことで登録ヘルパーの研修参加に影響があるように思われる。

#### （方針2）利用者のニーズに合ったサービスの提供

（実績2）利用者の高齢化やターミナル期のご利用者の増加などで、季節に関係なく体調を崩される方や精神的に不安定になられる方、また、認知症のご利用者は自分から体調不良を訴えられることが少なく、各ヘルパーからの報告・連絡はとても重要になっている。その報告を基にその都度、医療従事者や介護支援専門員など関係機関と連絡を取り相談しながら、その

方のニーズに合ったサービスが提供できるよう、サービス内容の変更や派遣時間・回数の変更等きめ細かく調整し、緊急時や臨時利用にもほぼ全て対応した。

さまざまなターミナルケアに対応できるよう、また、認知症利用者の心身の変化を見逃すことのないよう、サービス提供責任者も登録ヘルパーも一緒に学び、利用者のニーズに合ったサービスを提供できるよう努めていきたい。

### **(方針3) 登録ヘルパーの確保**

(実績3) 春に5名の新規ヘルパーの登録がありそれぞれに活動しているが、それ以降の登録はなかった。病気や骨折などで長期休職や退職、家の都合で1～2ヶ月活動できなかったヘルパーも複数名、登録はしてはいるが今は活動できないというヘルパーもあり、前年度より活動できるヘルパーは月7名近く少なくなっている。また、配偶者特別控除が受けられる範囲で働きたいヘルパーが大半のなか、派遣時間が増えデイサービスの送出しや迎え入れ等利用時間が限定されるケースの利用も多く、ヘルパーの派遣調整に苦勞する現状が続いている。登録ヘルパーの確保に引き続き努力していくとともに、拘束ヘルパーを増やしていくことも必要と考える。

### **(方針4) 利用者数の確保。**

(実績4) 事業実績のところに記載したように、月平均180名以上の利用があり目標を達成することができた。

### **(方針5) 必要書類の整備**

(実績5) 10月に週5日勤務の職員の異動があり、新しく職員を採用することができなかったため、サービス提供責任者の代行活動に充てる時間が増え、また、利用者の状況変化に柔軟迅速に対応しているため、書類整備に充てる時間が十分になく、特にモニタリング・アセスメントに関する書類の整備ができていない状況がある。

## **全体総括**

秋に、サービス提供者の他部署への異動があり拘束ヘルパーの1人がサービス提供責任者となったが、その拘束ヘルパーの後任の採用が進まなかった。今年度は、昨年度以上に利用者の体調変化が大きく、急な通院付添い・サービス内容の変更や派遣日時の変更増回とその都度調整を行い、対応困難ケースには内勤スタッフで対応、ターミナルケアでは登録ヘルパーが活動に入ったら亡くなっていたケースや、必要な時に必要なサービスを利用されるケースがあり、また、疥癬を発症した利用者の活動など、毎日が慌ただしく緊張を強いられることの多い年であった。介護支援専門員と連携しながら、往診医や訪問看護師・同業他社とのカンファレンスを行い、創和会の看護師や管理栄養士の力を借り、登録ヘルパーの理解と協力、内勤スタッフの努力により、利用者のニーズに合ったサービスを提供できるよう努めてきた。

月平均180名以上の方に利用いただいているが、今のヘルパーステーションの現状では利用者に満足していただきニーズに合ったサービスを提供していくには、これ以上の利用に対応するのは難しいのではと考える。新年度も、利用者やご家族が安心して在宅生活を過ごせるよう、関係機関との連携を密に図りスタッフの質を高める努力をしながら、信頼されるステーションを目指していきたい。

25年度事業実績

別表1

|        |      | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 年間計    |
|--------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 利用者数   | 24年度 | 165   | 166   | 161   | 163   | 159   | 161   | 167   | 169   | 170   | 169   | 168   | 166   | 1,984  |
|        | 25年度 | 173   | 174   | 180   | 182   | 172   | 182   | 180   | 181   | 185   | 185   | 186   | 191   | 2,171  |
| 要介護者数  | 24年度 | 114   | 116   | 110   | 109   | 107   | 108   | 110   | 114   | 113   | 109   | 109   | 103   | 1,322  |
|        | 25年度 | 112   | 108   | 113   | 119   | 108   | 116   | 114   | 114   | 115   | 115   | 117   | 117   | 1,368  |
| 創和会CM  | 24年度 | 47    | 46    | 46    | 46    | 45    | 45    | 47    | 52    | 46    | 46    | 45    | 46    | 557    |
|        | 25年度 | 50    | 49    | 53    | 55    | 50    | 52    | 50    | 51    | 49    | 49    | 51    | 48    | 607    |
| 他事業CM  | 24年度 | 67    | 70    | 64    | 63    | 62    | 63    | 63    | 62    | 67    | 63    | 64    | 57    | 765    |
|        | 25年度 | 62    | 59    | 60    | 64    | 58    | 64    | 64    | 63    | 67    | 66    | 66    | 69    | 762    |
| 要支援者数  | 24年度 | 51    | 50    | 51    | 54    | 52    | 53    | 57    | 55    | 57    | 60    | 59    | 63    | 662    |
|        | 25年度 | 62    | 66    | 67    | 63    | 64    | 66    | 66    | 67    | 70    | 70    | 69    | 74    | 804    |
| 創和会包括  | 24年度 | 35    | 34    | 34    | 36    | 35    | 36    | 32    | 31    | 33    | 33    | 33    | 33    | 405    |
|        | 25年度 | 34    | 37    | 37    | 37    | 35    | 39    | 39    | 41    | 45    | 44    | 43    | 48    | 479    |
| 他事業所包括 | 24年度 | 16    | 16    | 17    | 18    | 17    | 16    | 24    | 23    | 23    | 27    | 26    | 30    | 253    |
|        | 25年度 | 28    | 29    | 30    | 26    | 29    | 27    | 27    | 26    | 25    | 26    | 26    | 26    | 325    |
| 新規利用者数 | 24年度 | 3     | 12    | 4     | 12    | 2     | 7     | 7     | 6     | 7     | 4     | 6     | 4     | 74     |
|        | 25年度 | 14    | 6     | 7     | 7     | 0     | 10    | 4     | 9     | 6     | 6     | 8     | 3     | 80     |
| 派遣時間   | 24年度 | 1,583 | 1,744 | 1,645 | 1,680 | 1,788 | 1,628 | 1,765 | 1,691 | 1,684 | 1,632 | 1,517 | 1,636 | 19,993 |
|        | 25年度 | 1,675 | 1,769 | 1,660 | 1,858 | 1,726 | 1,783 | 1,788 | 1,801 | 1,725 | 1,645 | 1,671 | 1,876 | 20,976 |
| 登録HP活動 | 24年度 | 59    | 61    | 61    | 59    | 62    | 58    | 59    | 60    | 62    | 59    | 59    | 56    | 715    |
|        | 25年度 | 53    | 52    | 53    | 55    | 55    | 53    | 53    | 53    | 50    | 50    | 50    | 51    | 628    |

|       | 介護度  | 要支援1 | 要支援2 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 合計  |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|
| 25年9月 | 利用者数 | 27   | 39   | 42   | 37   | 14   | 11   | 12   | 182 |
| 26年3月 | 利用者数 | 36   | 38   | 41   | 29   | 20   | 16   | 11   | 191 |

|              |      |      |     |       |       |       |       |     |       |       |       |       |     | 別表 2   |
|--------------|------|------|-----|-------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-------|-----|--------|
|              |      | 4月   | 5月  | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月 | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月  | 年間計    |
| 居宅介護<br>利用者数 | 24年度 | 3    | 3   | 4     | 4     | 4     | 4     | 4   | 4     | 4     | 4     | 3     | 3   | 44     |
|              | 25年度 | 5    | 5   | 6     | 6     | 6     | 6     | 6   | 6     | 6     | 6     | 6     | 6   | 70     |
| 重度訪問<br>利用者数 | 24年度 | 0    | 0   | 0     | 0     | 0     | 0     | 0   | 0     | 0     | 0     | 0     | 0   | 0      |
|              | 25年度 | 0    | 0   | 0     | 0     | 0     | 0     | 0   | 0     | 0     | 0     | 0     | 0   | 0      |
| 地域支援<br>利用者数 | 24年度 | 1    | 1   | 2     | 2     | 2     | 2     | 2   | 1     | 1     | 2     | 2     | 2   | 20     |
|              | 25年度 | 2    | 2   | 1     | 1     | 2     | 1     | 2   | 2     | 1     | 1     | 2     | 1   | 18     |
| 派遣時間         | 24年度 | 91.5 | 86  | 103.5 | 108.5 | 100.5 | 117.5 | 114 | 98.5  | 98    | 108.5 | 113.5 | 121 | 1261   |
|              | 25年度 | 124  | 111 | 119   | 103.5 | 119   | 114   | 132 | 118.5 | 113.5 | 116.5 | 128   | 128 | 1310.5 |

別表 3

|      |      |    |      |      |      |      |      |      |     |      |      |      |      | 別表 3  |
|------|------|----|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|-------|
|      |      | 4月 | 5月   | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  | 11月 | 12月  | 1月   | 2月   | 3月   | 年間計   |
| 派遣時間 | 24年度 | 27 | 12   | 24.3 | 25   | 23   | 34.8 | 45.5 | 32  | 27.5 | 20.5 | 15.5 | 27.5 | 314.6 |
|      | 25年度 | 29 | 46.5 | 35   | 42.5 | 52.7 | 52   | 52   | 66  | 87   | 83   | 94.8 | 86   | 726.5 |
| 利用者数 | 24年度 | 8  | 6    | 7    | 7    | 9    | 10   | 11   | 8   | 11   | 8    | 6    | 10   | 101   |
|      | 25年度 | 9  | 10   | 9    | 10   | 6    | 6    | 7    | 11  | 6    | 9    | 11   | 9    | 103   |

## 実習生受入数

北里大学医学部2年生 - 3名

町田保育福祉専門学校生 - 5名

# 居宅介護支援事業所（ケアマネジメントセンター）

## 平成25年度事業総括

### 1, 研修計画について

#### （計画1）

外部研修のほかに、部署内において、事例検討を各職員が持ちまわりで担当し、日々の業務で起きる実践的な事例を通して、相互にアセスメントやケアマネジメント能力の向上に努める。  
（実績1）2回実施できましたが継続して行うことはできなかった。

#### （計画2）

職員一人が代表で参加する場合の外部研修については、重要なテーマについては部署内ミーティングなどで時間をとり、十分共有し、理解を深めていくようにします。  
（実績2）ミーティングで研修内容を共有し、相互理解に努めた。

### 3, 新任職員に対しての研修

#### （計画）

- ◇オリエンテーション
- ◇法令や基準について
- ◇ケアマネジメントについて
- ◇管理者及び現任職員のご利用者訪問に同行
- ◇地域の社会資源についての理解、サービス事業所や医療機関の訪問
- ◇東京都介護支援専門員基礎研修
- ◇その他、現任職員と同様の外部研修等
- ◇管理者との面談（着任後1・3・6か月）

（実績）10月から異動に伴い新任職員が入りましたが上記研修等を通して業務の引き継ぎも滞りなくできた。1月からは新規の利用者も徐々に担当しています。

#### （計画）

町田市ケアマネジャー連絡会の、平成25年度南部ブロック会役員として、研修等の企画や事務等に協力します。

#### （実績）

日々の業務が多忙な中、役員として協力し、貢献しました。また、連絡会に携わる中で得た情報なども業務に生かせるよう事業所で共有した。

### 4, 安全・情報管理面について

（計画）個人情報の保護については、特に書類の送達先、FAXの誤送信、個人資料の置き忘れ防止などに注意するため、手順の振り返りを行い、日々、気づき事項があれば全員で分析し、手順書の作成により自らチェックしていけるようにします。

また、定期的に書類整理の時間を設け不要な書類の処分や必要な情報もわかりやすく保管していかれるようにします。書式についてはアセスメント表など一部、修正が必要なものもあるので実情にあったもので業務の効率化も図れる書式に検討の上、改定していきます。

(実績) 紛失事故や調整漏れ等があった場合は、事故報告やヒヤリハット報告で提出の上、ミーティング等で共有し、分析の上、手順の振り返りや改善点を検討して、同じことが起こらない様にした。担当件数も増え多忙になってきており、書類の管理が煩雑になっている面もあったので、気を引き締めて注意しあい、業務にあたっていくように努めた。サービス担当者会議の照会用紙は見直しし、記入しやすいものに変更できた。アセスメント表など、その他の書類の更新はできなかった。

## 5、職員間の連携

(計画) 今年度も職員間での情報の共有、意思疎通、一体感の醸成に努め、迅速、的確な利用者対応をめざします。この点については平成23年度の第三者評価においても良い点として評価があり、担当職員が不在時でもできるかぎりの確なご利用者対応ができるように職員間での状況の把握を常に心がけ、風通しのよい職場づくりをしていきます。毎朝のミーティング、毎週の定例部署内会議、執務中の情報交換、業務日誌等を活用します。

(実績) 担当件数も増え全体で共有することが難しい面もあったが、毎朝のミーティングや毎週の部署内会議で状況を把握に努め、担当ケアマネが不在時でも一定の対応ができるようにした。

## 6、ケアマネジメント業務の見直し、質の向上について

(計画) 他の職員の利用者台帳を毎月約3件ずつお互いに交換してチェックし、部内においてセルフチェック体制を継続していきます。さらに、他の職員の訪問に同行するなど、お互いの業務を見直し、アドバイスしあうことで、業務の質の向上につとめていきます。

ご利用者、ご家族や他事業所との間に情報連携などにおいて不備があった場合も積極的にヒヤリハット報告や事故報告を活用し、振り返ることによって、再発予防に努めていきます。

また、ご利用者からの少しのご不満がトラブルに発展しないよう、必要なケースについては早めに管理者による訪問も実施し、ご利用者と担当職員との間を調整します。また、苦情や事故に発展した場合においても真摯に受け止め、適切な改善につなげていきます。

(実績) 日々の業務に追われ、台帳チェックができない月もあったが継続してチェックしあうことはできた。苦情があった場合は早急に対応し、部署内会議等で共有し再発の予防に努めた。

## 7、サービス終了後のフォロー

(計画) 施設入所などでサービスが終了した際にも少なくとも1回は電話等で状況を把握し、その後に問題が起きていないかなど確認をします。

(実績) サービス終了後も状況確認をするよう努めたが、確認ができないケースもあった。

## 8、事業所パンフレット、通信の作成

(計画) 事業所のパンフレットを、ご利用者や連携の多い医療機関、地域包括支援センターなどへお配りし、地域により貢献していけるように広めていきます。また、新たに作成された法人全体のパンフレットも活用していきます。

(実績)

法人の新しいパンフレットも新規訪問時に活用するなどした。

## 9、ケアプラン数について

(計画) 特定事業所Ⅱの加算取得事業所としての基準を順守、また、サービスの質を確保するため「居宅介護支援費Ⅰ」の範囲でご利用者をお受けします。常勤換算1人あたり30～3

5件程度とし、職員により件数の開きで過剰な負荷がかからないよう、毎月部署内会議にてご利用者の動向やプラン件数を確認し、ご利用者の受け持ち件数を平均的に割り振るようにします。また、介護予防プランは、依頼があった場合に、本来業務に支障のない範囲において委託をうけていくようにいたします。業務分担表を作成し、全体業務の把握、職員の担当業務を明らかにすることで効率的でむだのない業務につなげ、職員間で補完的な関係をつくることで事業所のレベルアップが図れるようにしていきます。

(実績) 新任職員や管理者を除き、常勤換算1人あたりほぼ35件を担当した。ターミナルのケースや支援困難なケースなども積極的に受け入れた。昨年度より増収につながったが、全体的に件数が増えたことと新規利用者や対応を要するケースも多かったこともあり、結果的に時間内に業務が終えることができないことにつながったり、記録などの整備が遅れるという状況が生じた。

## (25年度事業総括)

10月から新しい職員が他部署から異動配属されたが、一方で昨年4月に配属された職員が他部署へ異動となったことから、要員全体としては現状維持で増加はしなかった。そういう中ではあったが可能な限り新規のケアプラン作成を引き受けるように努めた。その結果、24年度と比較して年間延べ件数にして約200件超、年間事業収入では約300万円の増収という成果となった

| 平成25年度ケアプラン作成実績 |           |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     | (件数)  |
|-----------------|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
|                 |           | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 合計    |
| 基本              | 介護1. 2    | 96  | 99  | 102 | 102 | 102 | 99  | 95  | 93  | 89  | 91  | 88  | 91  | 1,147 |
|                 | 介護3. 4. 5 | 63  | 62  | 60  | 59  | 56  | 56  | 57  | 59  | 61  | 58  | 62  | 62  | 715   |
| 加算              | 特定事業所(Ⅱ)  | 159 | 161 | 162 | 161 | 158 | 155 | 152 | 152 | 150 | 149 | 150 | 153 | 1,862 |
|                 | 初回        | 6   | 5   | 5   | 2   | 6   | 2   | 4   | 5   | 5   | 7   | 7   | 4   | 58    |
|                 | 認知症       | 37  | 36  | 36  | 34  | 34  | 33  | 34  | 35  | 36  | 35  | 31  | 33  | 414   |
|                 | 独居高齢者     | 25  | 26  | 26  | 26  | 24  | 24  | 23  | 23  | 22  | 22  | 21  | 20  | 282   |
|                 | 入院時情報連携Ⅰ  | 0   | 2   | 1   | 0   | 0   | 1   | 2   | 2   | 1   | 3   | 0   | 0   | 12    |
|                 | 入院時情報連携Ⅱ  | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0     |
|                 | 退院・退所     | 2   | 0   | 2   | 1   | 1   | 3   | 2   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 11    |
|                 | 小規模多機能連携  | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0     |
|                 | 複合型サービス連携 | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0     |
|                 | 緊急時居宅カンファ | 1   | 1   | 0   | 0   | 0   | 0   | 1   | 2   | 0   | 0   | 0   | 0   | 5     |
|                 | 減算・返戻     | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0     |
|                 | 合計        | 159 | 161 | 162 | 161 | 158 | 155 | 152 | 152 | 150 | 149 | 150 | 153 | 1,862 |



## 高齢者支援センター事業部（地域包括支援センター）

平成25年度委託内容に沿った活動実績

地域の高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続して行く事が出来るようにするため、及び地域の高齢者の福祉の向上を図ることを目的に、介護や介護予防に関する総合的な相談に応じるとともに、高齢者が必要に応じて適切な保健医療福祉サービスを包括的に受けられるようにすることを目標に1年間受託業務を実践してきた。詳細は以下の通りである。

### （1）高齢者等の総合相談窓口

電話や訪問により実態を把握し、必要なサービスにつなぎます。

介護保険認定申請や生活支援型サービスの申請受付

近隣住民や民生委員からの相談への対応

介護保険未利用者や非該当者への対応

24時間 365日の時間外転送電話にて対応（実績）12か月間の合計

電話・来所相談件数 7, 267件（時間外の件数188件）

訪問件数 1, 368件（時間外の件数19件）

### （2）虐待の防止など的高齢者等の権利擁護に必要な支援を行い、必要であれば、成年後見制度に関する説明や申立支援等を行います。

（実績）ヒヤリハットがケアマネなどから上がった件数 4件

虐待報告書の市に提出件数 3件

成年後見相談件数 8件

### （3）緊急時・処遇困難ケースへの対応

認知症による徘徊捜査協力、高齢者やその家族のアルコール依存症や精神疾患によるサービス導入困難なケースの緊急、継続的対応を行います。

（実績）継続的に支援をしているケース 33人

### （4）包括的かつ継続的なサービスが提供されるよう、地域の多様な社会資源を活用したケアマネジメント体制を構築します。困難ケースを抱えるケアマネジャーの相談を受け、解決に協力します。

（実績）事例検討会 年1回 12/13 ケアセンター成瀬会議室 テーマは虐待

エリア会議 圏域で年1回 9/24 成瀬駅前センター

### （5）介護予防の普及啓発と、介護予防の地域活動を独自に、また市や他の支援センターと合同で行います。

- ・地域介護予防教室 年1回（開催日数12日、期間3か月）

（実績）今年度初めて今までつながりのなかった高ヶ坂団地自治会とコンタクトが取れ、集会場に11/5～1/28まで10回開催、終了後の自主化もできている。

- ・転倒予防！歩く力測定会 年1回 8/7 高瀬住宅集会場

（実績）計画通り実施

- ・2次予防事業参加者フォローアップ教室 年2回

- (実績) 7/12、2/14 CC 成瀬会議室
- ・地域型認知症予防プログラム 年1回
  - (実績) 高瀬住宅自治会の協力を得て 5/30～7/4 全6回開催
- ・介護予防サポーター情報交換会
  - (実績) 圏域代表としてケアセンターの会議室にて開催 5/23、11/28、2/13
- ・出張介護予防教室 年3回を過去未実施の自治会で、且つ要請があれば実施済み自治会でも開催
  - (実績) 6/6 公社住宅 9/13 第2都営 10/31 高瀬住宅 3/15 山村地区
- ・介護予防実行月間 9月26日中央型を全市で、10月地域型として成瀬会館で開催。
  - (実績) 特に10月20日の地域型には今年も沢山の事業所が協力してくれた。また例年通り昭和薬科大の田口教授、串田先生や学生さんたちボランティア、障害者作業所や地元野菜農家の出店も協力いただいた。

#### (6) 地域見守りネットワークの構築

自治会、民生委員、老人クラブ、あんしん協力員向けの地域ケア会議（年度初と年度末）を開催します。あんしん連絡員協力員向けの会議を開催します。又地域の医療機関やボランティア、自主活動グループとも連携します。

- (実績) 6/28 成瀬会館 「考えよう、地域の防災、自助、共助、公助」
- 3/26 成瀬会館 「安心して暮らせる地域作りプロジェクト」

ネットワークを通じて高齢者の生活を守るために

- ・ご当地ミーティングの開催 年3回以上
  - (実績) 4/3 あおぞら会館 7/5 成瀬センター 7/7 あけみ会
- ・あんしんキーホルダー事業受託
  - (実績) 発行キーホルダー数 3月末現在 758個
- ・認知症サポーター養成講座 年2回
  - (実績) 4/12 熊野神社 12/6 都営成瀬 2/15 高ヶ坂ふれあい会館

#### (7) 支援センターの業務や各種在宅サービスの広報および周知を行うため、広報紙「CoCo 幸」を隔月で発行し、教室や会議を開きます。また家族介護者教室を年2回、認知症の方を介護している家族の交流のための家族介護者交流会を年6回開催します。

- (実績) CoCo 幸の発行年6回達成。地域の13の医療機関への配布は7人の介護予防サポーターにお願いしている。
- (実績) 家族介護者教室と交流会を合体させて年2回。今年度はアンチエイジングをテーマに料理教室を開催した
- (実績) 交流会（ケアラズ）を趣向を凝らし、季節感を取り入れるようにして年4回開催した。そこからもの忘れ相談や心理士相談につながる効果も出ている。

#### (8) 認知症高齢者に関する総合生活相談事業（もの忘れ相談）及び臨床心理士による介護相談を毎月開催

- (実績) 認知症サポート医である徳富医師のもの忘れ相談は毎月第4月曜午後、臨床心理士相談は第1月曜午前で開催した。

#### 認知症地域支援推進員の配置

(実績) 24年度に1人、25年度に1人計2人研修を終了して、市の連絡会にも参加している。実質的な活動は26年度からになる。

(9) 福祉用具の紹介、選定および利用方法の提案、ならびに介護保険による住宅改修や生活支援事業等の利用支援をします。

(実績) ケアマネがっていない方々の支援を中心に行った。

(10) 相談受付表やパソコン上のネットワークを活用して常に相談者の情報共有を行います。朝礼や毎週のミーティングによりお互いの業務の進捗状況や利用者の情報を共有し、チームケア体制を取ります。

(実績) 支援センターの業務はチームワークなくしてはなし得ず、定例ミーティングで足りなければ、随時、机上ミーティングを実施した。

(11) あんしん連絡員・あんしん協力員を増やします。

町田市では、住民同士のつながりをシステム化し、その中核で高齢者支援センターが機能する事によって、孤立しがちな地域の高齢者のリスクを素早く取り除き、安心を創造する為に、設置する事となりました。

(実績) 現在のあんしん協力員64名・連絡員59名

## 委託事業概要

### 対象者

原則として町田市内担当地域に居住するおおむね65歳以上の者(介護保険サービスは40歳以上の特定疾病利用者も含む)であって、身体が虚弱または寝たきり若しくは認知症等のため、日常生活を営むのに支障がある者やその家族や関係事業者等とします。担当地域外の利用者であっても相談業務については柔軟に対応します。

対象地域 成瀬台・成瀬・高ヶ坂の全域

### 実施体制

職員配置 7名 25年度より二次予防事業担当員を0.5名増員

A 管理者1名 (基礎資格) 社会福祉士・介護支援専門員

B 常勤専任5名 <内訳>

(基礎資格) 主任介護支援専門員 1名

(基礎資格) 正看護師1名

(基礎資格) 主任介護支援専門員・社会福祉士 1名

(基礎資格) 社会福祉士・精神保健福祉士・介護支援専門員 1名

(基礎資格) 介護支援専門員 1名

C 事務職員 0.7名 (非常勤)

### 相談受付時間

祭日を除く月から土曜日。8:30～17:30。それ以降の時間帯は出勤職員が交替で業務用携帯電話を持ち帰り対応。緊急事態等で判断がつかない場合は管理者や施設長や副施設長等の管理責任者に連絡を取り指示を受け対応します。

### 相談受付方法

A 電話・来所相談

基本的に高齢者支援センター職員が行い、不在時には事務職員や母体施設職員が対応し、その後速やかに高齢者支援センター職員に申し送り引き継ぎします。また17:30以降は職員が交替で携帯電話にて対応します。

B 訪問相談

基本的に高齢者支援センター職員が行うが、相談内容により必要な場合は関係機関の職員との同行訪問も行う。

### 会議

(1)高齢者支援センター連絡会 毎月1回第4水曜日実施 市役所にて開催

(2)主任ケアマネ連絡会 年5回

(3)看護師保健師連絡会 年6回

(4)社会福祉士連絡会 年6回

(5)支援センター内ミーティング 定例週1回 支援センター職員全員参加

(6)ケースカンファレンス 高齢者支援センター職員並びに市役所はじめとする関係機関の職員が参加。虐待や成年後見利用ケースを必要に応じて開催。

平成25年度高齢者支援センター月別相談件数

|      |     |     |     |     |     |     |      |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
|      | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  |      |
| 電話来所 | 735 | 713 | 553 | 555 | 550 | 514 |      |
| 訪問   | 93  | 144 | 113 | 96  | 124 | 107 |      |
| 合計   | 828 | 857 | 666 | 651 | 674 | 621 |      |
| 月    | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 合計   |
| 電話来所 | 612 | 598 | 509 | 680 | 549 | 649 | 7217 |
| 訪問   | 90  | 92  | 117 | 127 | 117 | 148 | 1368 |
| 合計   | 702 | 690 | 626 | 807 | 666 | 797 | 8585 |

## 看護グループ

### 【基本理念】

看護師は、福祉サービスの基本理念である「個人の尊厳の保持を旨とし、ご利用者が心身ともに健やかに過ごされ、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう支援すること」を踏まえた上で①ご利用者の健康状態を把握し、異常の早期発見に努める②ご利用者の潜在能力を発見し、生活の中で楽しみを見出せるよう援助を行う③居心地のよい環境作りに努める④ご利用者に対し、明るく・親切・丁寧・わかりやすい対応を心がける、以上のことを大切に、介護・看護で相互協力しより良い施設運営を目指す。

### 【基本方針】

1. 日々のバイタルサインを通して、ご利用者の健康管理に努める。
2. ご利用者にとっての居心地のよい環境を介護職とともに作り上げていく。
3. 医療面・リスク管理について、良いアドバイザーとなれるよう努める。

### 【事業報告】

12月・1月に非常勤看護師が新たに各1名入職し現在研修中であることから、H24年4月から勤務していた派遣ナースの契約が3月末で終了した。H26年1月より常勤看護師が看護部門の主任となり、看護グループとして情報交換・共有・質の向上に努めている。

#### 1 デイサービスご利用者及び特養入居者の健康管理

##### (計画) デイサービス利用者の血圧・脈拍測定、身体状況の把握

(実績) 上半期、入退院後のご利用者が、利用する際の基準や注意事項を作成し、ケアマネ、デイ相談員ともに、実際に相談できたケースがあり、スムーズに利用開始できた。

また、デイ利用中、体調不良で早退や救急搬送となったケースがあった。

救急搬送事例では、アセスメントが不十分で、搬送先の病院への引き継ぎに苦慮した。

##### (計画) 入浴ご利用者のバイタルサインのチェックをし、入浴可否を判断し入浴方法をきめる

(実績) デイサービスでは、以前から時々あるが、バイタルサインチェックをせずに入浴を実施してしまう事故があり、対応策をデイ常勤と相談した。

##### (計画) 特養入居者の医療対応・身体状況の把握・薬剤管理、ケアスタッフへの指導を行う

(実績) 1月に1泊の入院があった他は、数名が外部受診を実施したが、20人満室で概ね安定している。往診医・薬局との連携もスムーズで大きな事故なく経過した。

また、徐々にターミナルケアに移行する可能性のあるご入居者のケア方針をご家族、往診医、ケアスタッフ他チーム全体で検討し合い、形を作る事ができた。スタッフへの指導は日々ケアの場面で実施、勉強会1回、全体研修会1回を実施した。

##### (計画) 必要時に機能訓練のサポートを行う

(実績) 10月に機能訓練指導員(理学療法士)が家庭の都合で休職され、デイサービスの機能訓練をデイサービス常勤と12月まで対応した。1月からは、新しく入職した機能訓練指導員(柔道整復師)と調整して、一部の機能訓練を実施している。

## 2, その他

**(計画) 他部署からの依頼でご利用者における健康相談及び情報交換を行う**

(実績) デイサービスでは、医療依存度の高い利用者のサービス担当者会議に出席した。ヘルパーステーションの疥癬感染のご利用者の相談や物品準備を実施、また体調不良者の訪問を実施した。特養では、ナースの居室担当制を導入し、ケアプランの医療情報提供やサービス担当者会議への出席を担当者が行った結果、より細やかな対応が出来た。

**(計画) 緊急時の対応を行う**

(実績) デイサービスでは救急搬送の際、役割分担を明確にして練習会を実施してもらった。その結果、1件の救急搬送事例があったが、以前よりスムーズに実施出来た。

**(計画) 施設内での感染予防への取り組みを行う**

(実績) 特養では、感染対策マニュアルを完成させ、感染対策委員会では集団感染時の対策を周知してもらった。感染性胃腸炎の流行前に嘔吐物処理法の勉強会を2回実施した。施設全体に対しては、胃腸炎やインフルエンザ対策の啓蒙として書面を配布した。

**(計画) 地域密着型特養の運営を軌道に乗せるための協力をしていく**

(実績) ナースの居室担当制を導入し、ケアプランについてより細やかな相談に応じる体制を実施した結果、ナースもケアスタッフの実情を理解しながら、チームの一員として働きかける事が出来た。

**(計画) 「緊急時の対応」「感染予防」等、研修の企画・実施を行う**

(実績) 11月に施設全体研修を実施した。「AED訓練を含めた緊急時対応」は繰り返し実施したいと概ね好評であった。「感染対策」は特養でミニ勉強会を実施した。

## 総務管理課（法人本部事務局）

### 1、（経理業務）新会計基準の導入（移行処理）

#### （計画）・平成24年度決算業務の実施

- ・新会計基準移行手続きの実施
- ・新会計導入に伴う経理規程の変更

（実績）・平成24年度決算業務と新会計への移行手続き時期が重なったが、決算手続きは例年より効率的に進められ、新会計移行処理も比較的スムーズに終わることができた。

- ・新会計基準への移行に伴い、経理規程の全面改定を行う。
- ・福社会計 SC 主催の新会計による処理研修に出席（決算処理含む）（12月）
- ・平成24年度決算業務の実施。
- ・平成25年度補正予算（3月）
- ・平成26年度当初予算作成（3月）

### 2、（給与、労務管理業務）

#### （計画）・新たな就業管理システムの導入及び給与システムとの連動

- ・労務管理データの一括管理の見直し
- ・その他

（実績）従前の就業管理システムの導入から10年超経過し、事業体制の大きくなるなか、一部手作業での運用があるなど非効率な作業環境であった。その為昨年度終了間際より新たなシステムに切り替え、今年度は本格的な移行手続きを行う。新システムの導入により、現在の業務体制に十分対応できるシステムと切り替わり、時間削減へとつなげることができた。また、労務管理データの一括管理の見直しについては、期中、給与業務のアウトソーシングの急な導入などにより、他の優先項目が発生したため、引き続き次年度にもちこすことになった。

6～8月にかけて定期健康診断、また11月ごろには特養職員向けに特定業務従事者の健康診断種を実施した。胃カメラ等法定の項目以外に個々に希望する検査の要望もあり、西嶋医院以外にも「協会けんぽ」が指定する他の病院を提示し、希望に応じた検査計画にて進めた。担当となる職員が計画的に実施し終わることができた。

また、感染症予防対策の一環として、インフルエンザの予防接種を例年通り11月より実施。登録ヘルパーを含め多数の職員が接種することができた。

- ・就業管理システムの導入と運用開始（4～6月）
- ・定期健康診断の実施（6～8月）
- ・特定業務従事者（夜勤スタッフ）への健康診断の実施（11月）
- ・インフルエンザ予防接種（11月より順次）
- ・年末調整手続き（12月）
- ・法定調書、支払報告書の作成（1月）

### 3、文書管理等

（実績）開設から17年が経過、平成23年度には改修工事もあり、文書類が増加、また他の業務を優先したこともあり整理がおいついておらず今年度着手した。不要と思われるものは極力廃棄し、各文書をまとめたリストを作成、書類と書庫を番号でリンクさせることにより効率的な運用ができるようファイリングを行った。これにより管理の簡素化と



情報管理のし易さにつながった。個人情報の管理が社会的にも当然である昨今、一方本会は地域に開かれた施設である。これらを両立できるよう効率性と安全性の確保に努めていくのが今後の課題である。

#### 4、給与、労務管理業務

##### (計画)・給与業務の一部アウトソーシング

(実績) 総務内職員の退職予定に伴い、給与業務のアウトソーシングを行った。従前より職員数が増加し、安定的な給与業務を図る必要性もあったため導入に至った。1月よりスタートより無事スタートする運びとなり、一部業務の削減にも繋がっている。

・給与業務アウトソーシングの実施（11～12月準備、1月より運用開始）

##### (総括)

労務管理については、平成25年度年度初めより前年度終盤から着手した就業システムの導入を完了した、また経理業務については新会計基準への移行処理、経理規程の全面変更を進めた。これら大きな変更事項については、順調に終えることができた。反面、期中に次年度の人員減少が予定され、給与業務のアウトソーシングを行うなど、当初予定していなかった体制の見直しを行い、次年度へ引き続く課題が残った。

下半期では26年度からの3ヶ年プロジェクト委員会の立ち上げ、中期計画の立案にかかわり、次年度以降の方向性が明確になり、法人の基盤を支える部門として身の引き締まる思いがした。以上のように平成25年度は新たな就業管理システムへの入替や職員の交代に向けての準備に時間を要する年となった。年度末からは新規職員の採用を実施し新たな体制の確立を進めている。次年度は第2期3ヶ年プロジェクトの初めの年でもあり、今年度の準備の年に続き、新たな体制により飛躍の年になるよう繋げていきたい。